

ナラティブ・アプローチによる事例検討：訪問看護師の事例検討

～スタッフ用ガイド～

<はじめに>

以下の3つの点に注意して、事例を読んでみましょう。

- ・その人の思いに焦点をあてること
- ・表現に着目して思いを察してみること
- ・間違った意見はありません。自由に意見を出してください。

<導入>

Q：誰がかかわっていますか？

：事例を読んで「気になった」ところはどこでしょうか。

なぜ「気になった」のでしょうか。なぜそのような事態になったのでしょうか。

：「わたし」の気持ちを考えてみましょう。

：その人物の言葉が少ない、要約されているなど、事例の中でそれぞれの登場人物が、どのように描かれて（表現されて）いるか気を配ってみましょう。

<気づくべきポイント>

*何が倫理的な問題かに気づく

- ・Kさんがなぜ胃カメラを拒否していたのか、入院を嫌がっていたのかその理由がつかめていない。そのため、Kさんの意向に向けたアクションがおこせず、Kさんの意向が最期の治療方針に組み込めなかった。
- ・Kさんが胃カメラを拒否した時点で、病状悪化時にどうするのか、主治医の方針、家族の意向がはっきりしないまま訪問が続けられていた。そのため、Kさん、家族各々にとって、望んでいた最期になったと言い切れない。
- ・家族が自宅での介護を拒否する理由がはっきりしない。聞いていれば、解決策が見いだせたかもしれない。
- ・緊急訪問を断られ、一番大事なときに家族から信頼されていない。

*潜在的な思いに気づく

- ・妻の言葉ばかりに反応している。
- ・自分ひとりで考えているが相談できていない。行動にも移せていない。できないのかもしれない。
- ・本人、家族、医師の意向を踏み込んで聞いていない。コミュニケーションがとれていない？チームアプローチがとれるように関わっていない？
- ・医師と看護師のやりとりが物語に書かれていない。

*法制度、社会規範、文化、社会構造など、関連している要因に気づく

- ・医師が本人の意向を尊重できていない医療の現状。
- ・専門職が法的責任を問われないために延命することに重きを置く風潮。
- ・チームで話し合う体制がとれないまま流されていく状況。
- ・相談できない立場や体制にあるのかもしれない。

*語られていない登場人物の声や思いに気づく

- 息子の気持ちが表現されていないこと。

⇒これらに気づかない時は、投げかけるような質問をする。

「なぜ、Kさんの思いは叶わなかったのでしょうか」

「家族にとってよい最期だったのでしょうか？」

「医師はどのような考えだったのでしょうか」

「なぜ、家族は緊急訪問を断ったのでしょうか」

「誰のために入院したのでしょうか」

「専門職の責任とは何でしょうか？」

「どうすれば良かったのでしょうか」

「何があれば上手くいったのでしょうか」 など

<まとめ>

Q：どのようにすべきだったでしょう？ どうあればよかったですでしょう？

：実践でどう役立てられますか？ どう役立てようと思いますか？

：今回の検討をやってみてどうでしたか？

ご使用の際は、ご一報ください。

kankyou@slcn.ac.jp